

バババールン福山引野 自己評価結果

討議年月日: 令和 4 年 1 月 21 日

公表: 令和 4 年 2 月 18 日

事業所名 バババールン福山引野

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	出来るだけ余分なものを置かず、広い空間づくりに心がけている。	クールダウンができるように2階の一室を利用する。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	0	利用者の特性に合わせて人数配置を心がけている。	手がかかる児童が多い日は、早めに人数配置を多く取っておく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	フラットな床面に仕上がっている。	室内は、ほぼバリアフリー化されている。必要でないものは置かないように配慮していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	毎日MTや毎週のスタッフMTにて、業務改善のPDCAを行っている。	研修等でスタッフ一人ひとりのスキルをあげて、より業務改善を心がける。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	保護者から頂いたご意見をもとに、自事業所で何が出来るか会議して、改善に努めている。	個別で保護者の意向も違って来る為、必要に応じて社内で相談し、改善している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	公開している。	会社事業部のホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	0	前回の保護者アンケートの意見をもとに改善に繋がれるところは改善を行った。	今回も保護者からの意見をもとに、何か改善できる部分はないか職員間で会議をして改善に繋がれるようにする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	確保している。	事業所として今回新たに研修できるソフトを追加してさらに研修が出来る環境を整えている。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	支援計画を作成した際には、職員間で共有し、支援内容が適切なのか全員で確認している。	定期面談や送迎時に出来るだけ家庭での様子を聞き、保護者の方の思いを大切にし、計画を作成するように心掛けている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	保護者に聞き取りを行い、しっかり児童の様子を把握した上で使用している。	アセスメントツールを使い、ご利用者様の状況確認を行い、個別支援計画にも活かしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	その日に来所する児童の特性をもとに、活動が適切なのか職員間で話し合い、プログラムを立案している。	前月のスタッフミーティングで活動内容の意見出しを行い、実施日の前にはミーティングを行い情報共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	過去のプログラムを見返す等、活動が偏らないよう工夫している。	職員が様々な意見を出し合い、子ども達の興味のあるものを日々考案している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	提供時間に応じて、その日にできる活動、難しい活動内容を考慮してその中でできる活動を設定している。	平日・休日・長期休暇に応じて、プログラムや療育の計画を立てて支援をしている。又、子ども達のコミュニケーション力を観察する為、自由遊びも取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	自由時間には個別で過ごす時間、活動は集団の時間等と工夫している。	自由時間以外でも、必要に応じて個別活動を取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	確認している。	毎朝ミーティング時に、支援内容を担当よりスタッフ全員に伝えている。パートスタッフには出勤時に支援内容を説明している。特に、危険が伴う活動の際には、注意事項の確認、担当職員の確認を必ず行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	支援終了後にできない時もある。	子ども達の様子や、保護者からの相談などを自然に言い合える空間づくりを行い、又、情報共有出来るように、社内連絡が行えるよう、ツールを使用している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	つなげている。	活動中にメモを取り、日々の日報に記録し、支援内容や配慮すべきことを、社内でも話し合い改善につなげている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	判断出来ている。	利用者の誕生日や半年ごとに保護者と児童の様子について話す場を設けて、保護者の想いを確認して、支援内容の見直しを行っている。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	1	行っている。	ガイドラインを参考に、利用者の様子を見ながら、必要である活動を取り入れている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	会議は行われていないが、電話連携を取り合っている。	利用者の様子や特性に詳しい職員が対応している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1	その都度、必要と判断した時にしている。	セルフプランが始まり、学校との連携が増えてきている。それにより学校での出来事が分かり、施設での支援がしやすくなっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	整えている。	現在、主治医と連携を必要とされる児童の受け入れがない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	努めている。	必要に応じて電話連絡をさせて頂き、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	6	現在移行なし。	今後、必要があれば連携していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	受けている。	事業者で解決が難しいと判断した時に、相談支援事業所に電話で連携をとっている。研修もお願いしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	6	今のところない。	コロナウイルス感染症の影響もあり、行われていない。状況に応じて、交流の場を設けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	必要に応じて参加していく。	コロナウイルス感染症の影響もあり、本年は参加していないが、今後、参加していく予定である。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	持っている。	日々の療育の様子をお伝えしたり、学校やご家庭での様子を伺ったり、情報共有に努めている。又、LINE連絡や、必要であれば電話で対応している。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	行っている。	子ども達の様子をお話して、必要に応じて積極的に話をしたり、相談を持ち掛けられた時には、まずはお話を伺い、内容を理解し、一緒に考えるようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	行っている。	契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	行っている。	すぐに対応できない場合、社内ミーティング等で相談内容を整理し、支援を行っている。又、LINEや電話等でも対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	行っていない。	コロナウイルス感染症により本年度は、行っていないが、機会があれば実行したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	対応している。	保護者が納得されるまで状況を説明し、本質を明確に伝え、話をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	発信している。	毎月お便りを出したり、月2回にブログに支援内容をアップしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	注意している。	個人情報には施錠付き保管庫で管理し、データベースについては、各PCに暗証番号とパスワード、そして、ファイルもパスワードを付けて管理を行っております。又、個人情報は最小限の関係機関のみで共有している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	配慮している。	一人ひとりに合わせた伝え方や、工夫を考えながら情報共有を行うようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	6	図っていきたい。	コロナウイルス感染症により本年度は、行っていないが、今後は地域の交流を行っていきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	周知している。	各種マニュアルを作成し、各種防災訓練や避難訓練を実施し、緊急時、保護者へ迅速に連絡できるように緊急連絡先を整備している。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	行っている。	年間12回、毎月定期的に行う各種避難訓練、防災訓練を行い、児童及び職員の人命の確保に努めている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	適切な対応をしている。	研修を行い、自事業所ではどのような対応をするのか、取り組み方を確認している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	記載している。	契約書、運営規定に記載しており、契約時に各保護者に説明している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	対応している。	研修を定期的に行い、対応できる体制を整えている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	共有している。	社内ミーティングで常に情報を共有し、事故防止、予防に努めている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。